

【島のくらしの情報】

粟国島

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島では農業が主産業であり、サトウキビやタマネギ、もちきび等の生産が行われ、畜産業も盛んに行われています。 ・働く場として、主に役場、特別養護老人ホーム、塩工場、観光協会、社会福祉協議会、保育所、幼稚園などがあります。 ・季節の仕事として、JAおきなわ粟国支店では、毎年製糖操業のため、11月頃から募集が始まり、勤務期間は、1月から3月下旬ごろとなっています。
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村営住宅があり、平成29年度以降には村営住宅を追加建設の予定です。また、村営の定住促進用住宅3戸(単身者)(家賃6000円/月)の入居者募集もしています。(詳しくはブースで！) ・島内には不動産会社が無く、島内に知人がいなければ、家の借用は難しいと思われます。平屋一戸建を借りる場合は家主との直接交渉となります。
<p>③ 医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島内には診療所があり、医師と看護師が常駐しています。歯科はありません。緊急な措置が必要な場合、ドクターヘリや自衛隊機での搬送を行い、沖縄本島の病院に搬送されることがあります。 ・出産祝い金、妊婦健康診査旅費等助成金 粟国那覇間の交通費実費、出産に備えて待機する場合の宿泊費5万 ・子ども医療費助成金あり・外来医療費 0～6歳(小学校入学前)・入院医療費 0～15歳(中学校修了前)
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成10年2月に法人認可された社会福祉法人粟国福社会により特別養護老人ホームあぐにが運営されています。定員は30名、ショートステイ4名、デイサービス1日10名 ・へき地保育所1カ所 1, 6歳～幼稚園入園まで ・ファミリーサポートセンター 粟国村社会福祉協議会が実施 ・村には保健師が2名いますので、毎週の健康相談や様々な健康教室が展開されています。 ・中央公民館(図書室・ふるさと資料館)、各地区にコミュニティー施設もしくはふれあいセンター



<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>・平成28年4月現在、幼稚園児:11名(3年保育) 児童:35名、中学校:28名 幼稚園は3年保育(預かり保育有り)、幼小中学校で一貫した教育が行われます。学習発表会や運動会では地域の方の参加と協力・交流があります。部活動も盛んで、リコーダー部は、全国大会へ出場し輝かしい成績を収めています。また、バドミントン部は県内強豪校の1つに数えられ、九州大会出場等優秀な成績を収めています。平成28年度では、粟国中学校男子バドミントン部は県大会で優勝しました。キャリア教育事業では、本島や県外へ職場体験がおこなわれています。本島での社会科見学や本島の学校との交流事業などがおこなわれています。離島特有の「15の旅立ち」に伴い、じりつ(自立・自律)できる子供の育成に地域とともに取り組んでいます。今年度からは小学校4年生以上の児童に対し、「アニー塾」という村営塾が新たに開設されました。 ・本村には、高校がないため、沖縄本島の高校へ進学します。平成28年4月に、離島などからの高校進学の生徒を受け入れる県立離島児童生徒支援センター(群星寮 むるぶしりょう)が那覇市東町に開所しました。</p> <p>・給食費の無料化 粟国村離島高校生修学支援費補助金(本島から本村までの島外生徒の帰省のための往復旅客運賃の負担。本島でアパートや寄宿舍に居住している生徒の下宿費、寮費、賃借料。 年度上限240,000円とする。) ・高校在学支援補助金(どちらか一方の保護者の月1回のフェリー村発往復運賃金額を補助する。対象:世帯の総所得額が600万円未満のもの及び両親ともに本村に住所を有する者で、二重生活の実態がない者)</p>
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>・海水淡水化施設を整備し、水の安定供給を行っています。上下水道基本料金は(6m³)2,174円となっています。</p> <p>・電気は、島内による内燃力発電所(1,500KW)風力発電(250KW)が発電能力となっています。</p> <p>・ガスはプロパンガスです</p>
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>那覇⇄粟国島 【航路】フェリー 沖縄県那覇市泊港から粟国島へ。 フェリーで約2時間10分(1日1往復) ・大人往復(6,480円) 大人片道(3,410円)/・小人往復(3,250円) 小人片道(1,710円)</p> <p>【空路】ヘリタクシー(チャーターヘリコプター) エクセル航空株式会社 最大5名(350kgまで)乗りのヘリタクシーが那覇空港から粟国空港へ。 約25分(前日からの予約 乗合受付は粟国村役場総務課 貸し切りの場合は、エクセル航空へご連絡願います) 片道1フライト(21,600円) * 貸し切りの場合は、21,600円、乗合の場合は、21,600円を利用した人数で割ります。* 期間限定で現在補助が出ており、適用後の運賃です。</p>

<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>【コミュニティーバス】 ・一日7便、島内コミュニティーを巡回するバスを運行中。大人(100円)/小学生以下(50円)/75歳以上(50円)</p> <p>【乗合タクシー】 ・8:30～17:30運行中。要予約(098-988-2016、粟国村役場総務課) 大人(200円)/小学生以下(100円)/75歳以上(100円)</p> <p>【レンタサイクル・レンタカー】 ・ご利用の場合は、粟国村観光協会などへ事前に予約がおすすめです。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】商店など3軒、食堂3軒、給油所2軒</p> <p>【金融機関】 郵便局、JAおきなわ粟国支店</p> <p>【物価例】 米5kgが1,500円～、ティッシュペーパー(5箱入)350円、 ガソリン(1L)129円前後 (H28年10月現在) ※その他野菜等の粟国村産は比較的安価で購入することができます。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>・Iターンとして、地域おこし協力隊が活躍しています。(H28年度 地域おこし協力隊3名)</p> <p>・サトウキビのきび刈り援農隊に来て、気に入って永住する方も多く見られます。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>・移住を希望される方には、公営住宅の見学や支援を行っております。また、定住者支援案内パンフレット等の配布や説明等をさせていただいております。</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>・平成6年に粟国村若者定住促進条例が制定されています。</p> <p>・5年以上継続して村に定住する意思のある方には、結婚祝い金30,000円、新築祝い金100,000円の交付を行っています。</p> <p>・平成27年度に、定住促進住宅6世帯が完成しました。主にIUJターンにより観光・福祉・農漁業などの就業のため、単身用世帯を対象とした村営住宅です。また、家族向けの村営住宅も建設を予定しています。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>・毎日運行している那覇市泊港からフェリーで2時間ほどで、来ることができ、便利な島ですが、台風や天候(特に冬場)によって、船が欠航することも多いです。診療所はありますが、専門の外来については、本島へ行かなくてはならないなど、離島ならではの苦勞もあります。移住希望者は事前に役場等へ連絡をして、情報を得ることが必要です。来島して、島生活を体験することもおすすめします。仕事についても、働く場所が限られていますので、職員募集があるかなど、事業所へ確認をすることも必要です。高齢化率が34パーセントと高く、少子高齢化が進む離島ですが、子育て支援の充実や地域の密接な関係など、都会では得られないものもたくさんあります。積極的に地域活動に参加し、交流をするなどの努力が必要です。</p>